

令和5年度

事業報告書

決算報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

東京土木施工管理技士会

はじめに

会員各位のご支援・ご協力により、令和5年度事業が遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

令和5年度は、本年4月から時間外労働の罰則付き上限規制が適用されることを踏まえ、「働き方改革」に即した研修会をはじめ、会員の技術力向上、若手技術者の育成や資格取得を支援する各種講習会・研修会を開催したほか、関係法令・制度・行政施策等の情報を周知するため、官公庁による概要解説の説明会を実施いたしました。

また、会員が最先端技術を活用して施工する都市土木の工事現場、住宅街での施工のため騒音対策などに創意工夫をされている工事現場の見学会や、異業種施設の視察見学会を実施し、技術力向上の支援に努めました。

さらには、広く都民の方々に土木技術者の役割と社会資本整備の重要性を理解していただくため、一般向けの土木施設見学会を実施、加えて優秀な人材の確保を支援する「採用担当者向けセミナー」、合同企業説明会「みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ」を開催いたしました。

これらの当会の活動内容、土木施工に関する情報等を機関誌「DOBOKU 技士会東京」にて会員や関係団体の皆様に周知し、技士会の事業活動をPRいたしました。

令和5年度

事業報告書

1. 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための研修会・講習会を全18回開催した。

①若年技術者のための支援

- ・建設業新入社員研修会〔共催〕 〈ハイブリッド〉 4月5日・6日
- ・新入社員半年フォロー研修会〔共催〕(第1回) 10月24日
(第2回) 10月30日
- ・若手技術者(3～5年次)フォロー研修会〔共催〕 11月15日

②1級土木施工管理技士資格取得のための支援

- ・第一次検定試験受験準備講習会〔共催〕 6月7日～8日
- ・第二次検定試験受験準備講習会〔共催〕
〈オンデマンド〉 8月31日～10月1日

③基礎的な技能習得のための支援

- ・原価管理講習会 5月17日
- ・安全管理講習会 〈オンライン〉 7月13日
- ・コンクリート施工技術講習会〔共催〕 7月27日
- ・仮設構造物(土留め工)の設計・施工講習会 9月7日
- ・環境管理講習会 11月14日

④総合的な技能習得のための支援

- ・現場代理人の折衝力強化研修会〔共催〕 〈オンライン〉 6月27日
- ・道路橋における維持管理の基礎セミナー 〈オンライン〉 8月30日
- ・工事成績評定アップ対策のポイントセミナー 〈オンライン〉 10月26日
- ・積算講習会 11月8日
- ・現場の生産性を高めるコミュニケーションセミナー 12月19日

- ・現場の失敗事例に学ぶ施工管理セミナー 1月18日
- ・コンクリート維持管理技術講習会（上級編） 2月2日

(2) 土木工事現場の視察

- ・R2 国道 246 渋谷駅周辺地下道工事 〈オンライン〉 7月7日
- ・境川金森調節池工事その2 9月5日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- ・NTT 中央研修センター「NTT e-city Labo」 10月13日

2. 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

官公庁による法改正や入札契約に関する概要解説の各種説明会を4回開催した。

(1) 法改正等に伴う説明会の実施

- ・建設業の取引適正化に関する説明会〔共催〕 〈オンライン〉 10月31日
- ・盛土規制法に係る説明会〔東京都主催〕 〈オンライン〉 2月8日

(2) 入札契約に関する説明会の実施

- ・関東地方整備局 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕
〈オンデマンド〉 6月13日～30日
- ・東京都 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕 〈オンライン〉 8月7日

3. 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR事業

若者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう主に大学

生を対象にインターンシップと業界研究のイベントを東京建設業協会と共催し、本イベントの一環として、就職活動をする学生の動向やインターンシップの重要性などについて採用担当者向けに説明会を開催した。

- ・採用担当者向けセミナー〔共催〕 〈オンライン〉 7月19日
- ・みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ〔共催〕
〈オンライン説明会〉 8月2日・3日
〈オンデマンド配信〉 8月21日～2月24日

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- ・東京湾アクアライン 海ほたる 裏側探検 12月22日

(3) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- ・第93号（令和5年4月発行）
- ・第94号（令和5年7月発行）
- ・第95号（令和5年10月発行）
- ・第96号（令和6年1月発行）

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内の発信をはじめ、ホームページやメール、機関誌を活用して情報を提供し、利便性の向上に努めた。

4. 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査などを実施した。

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5. 表 彰

- (1) 優良技術者表彰の実施

会員から推薦された優良技術者152名を表彰した。

- (2) 各種表彰候補者の推薦

優良技術者表彰の中から12名を（一社）全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

6. 連 絡 協 議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、（一社）東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7. 会 議

- (1) 総 会

・ 定時総会

5月29日

議決事項

① 令和4年度事業報告並びに同決算報告に関する件

② 令和5年度事業計画（案）並びに同収支予算（案）に関する件

優良技術者表彰 152名

(2) 理事会

- ・ 第 1 回 理事会 5 月 29 日
 - ① 令和 4 年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 - ② 副会長選任に関する件
- ・ 第 2 回 理事会 3 月 21 日
 - ① 令和 6 年度事業計画（案）に関する件
 - ② 令和 6 年度収支予算（案）に関する件

(3) 監事会

- ① 令和 4 年度事業報告に関する件
 - ② 令和 4 年度決算報告に関する件
- 4 月 18 日

8. 委 員 会

(1) 総務委員会

- ・ 第 1 回 総務委員会 12 月 20 日
 - ① 令和 5 年度会員の異動状況と収入状況について
 - ② 令和 5 年度事業の実施状況について
 - ③ 令和 5 年度事業の今後の予定について
- ・ 第 2 回 総務委員会 3 月 13 日
 - ① 令和 6 年度事業計画（案）について
 - ② 令和 6 年度収支予算（案）について

(2) 事業運営委員会

- ・ 第 1 回 事業運営委員会 12 月 6 日
 - ① 令和 5 年度事業の実施状況について

② 今後の事業予定について

③ 優良技術者表彰について

- ・「日本航空安全啓発センター」視察 1月25日
事業運営員会委員による視察会を実施。安全への取組み、確認の重要性、さらには命の尊さを考え、あらためて安全意識が高まる機会となることを目的に、JAL メンテナンスセンター施設内の日本航空安全啓発センター（大田区）を視察した。

- ・第2回 事業運営委員会 3月5日
 - ① 令和6年度事業計画（案）について
 - ② 令和6年度優良技術者表彰について

- ・講習会グループ会議 11月30日、2月21日
令和5年度講習会事業の実施状況、令和6年度講習会事業（案）などを協議するため開催した。

- ・現場視察グループ会議 2月28日
令和6年度の現場見学会候補地を選定、協議するため開催した。

- ・情報・広報グループ会議 6月21日、10月17日、2月7日
令和5年度事業の機関誌「DOBOKU 技士会東京」発行、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け土木施設見学会候補地を協議するほか、令和6年度の事業計画（案）を協議するため開催した。

令和5年度

決算報告書

収 支 計 算 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
会費収入		34,000,000	33,864,000	136,000	99.6%
	個人会費	500,000	458,000	42,000	
	法人会費	32,500,000	32,406,000	94,000	
	賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	
入会金収入		150,000	99,000	51,000	66.0%
	入会金収入	150,000	99,000	51,000	
事業収入		4,700,000	6,047,420	△ 1,347,420	128.7%
	講習会収入	4,700,000	6,047,420	△ 1,347,420	
雑収入		100,000	42,717	57,283	42.7%
	雑収入	100,000	42,717	57,283	
当期収入合計 (A)		38,950,000	40,053,137	△ 1,103,137	102.8%
前期繰越収支差額		13,780,000	13,542,835	237,165	
収入合計 (B)		52,730,000	53,595,972	△ 865,972	101.6%

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

勘定科目		予算額	決算額	差異	備考
大科目	中科目				
事業費		30,330,000	30,210,066	119,934	99.6%
	給料手当	10,900,000	10,836,043	63,957	
	福利厚生費	1,640,000	1,755,596	△ 115,596	
	旅費交通費	50,000	50,814	△ 814	
	通信運搬費	1,000,000	882,028	117,972	
	会議費	900,000	895,765	4,235	
	講師謝金	1,800,000	1,842,706	△ 42,706	
	研修講習費	2,500,000	2,486,729	13,271	
	資料印刷費	1,700,000	1,713,341	△ 13,341	
	調査視察費	900,000	434,045	465,955	
	広報費	5,200,000	5,172,067	27,933	
	行事費	1,900,000	2,269,070	△ 369,070	
	負担金	1,790,000	1,823,000	△ 33,000	
	雑費	50,000	48,862	1,138	
管理費		9,840,000	9,460,906	379,094	96.1%
	給料手当	3,300,000	3,124,961	175,039	
	福利厚生費	740,000	598,899	141,101	
	旅費交通費	50,000	41,456	8,544	
	通信運搬費	400,000	426,474	△ 26,474	
	備品消耗品費	350,000	332,761	17,239	
	賃借料	1,470,000	1,453,636	16,364	
	水道光熱費	800,000	564,000	236,000	
	総会費	2,700,000	2,897,565	△ 197,565	
	雑費	30,000	21,154	8,846	
引当預金支出		400,000	400,000	0	
	退職給与引当預金支出	400,000	400,000	0	
積立預金支出		1,000,000	1,000,000	0	
	記念事業基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費		500,000	50,000	450,000	
	予備費	500,000	50,000	450,000	
当期支出合計(C)		42,070,000	41,120,972	949,028	97.7%
当期収支差額(A)-(C)		△ 3,120,000	△ 1,067,835	△ 2,052,165	
次期繰越収支差額(B)-(C)		10,660,000	12,475,000	△ 1,815,000	

正味財産増減計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位:円)

勘定科目	金額	
I 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	△ 1,067,835	
退職給与引当預金増加額	400,000	
積立預金増加額	1,000,000	
資産増加額		332,165
2. 負債減少額		
退職給与引当金取崩額	0	
負債減少額		0
増加額合計		332,165
II 減少の部		
1. 資産減少額		
退職給与引当預金減少額	0	
資産減少額		0
2. 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	400,000	
負債増加額		400,000
減少額合計		400,000
当期正味財産増加額		△ 67,835
前期繰越正味財産額		39,542,835
期末正味財産合計額		39,475,000

貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	332,793		
預金	11,649,557		
前払金	636,650		
流動資産合計		12,619,000	
2. 固定資産			
退職給与引当預金	4,353,913		
記念事業基金	7,000,000		
財政調整基金	20,000,000		
固定資産合計		31,353,913	
資産合計			43,972,913
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	144,000		
流動負債合計		144,000	
2. 固定負債			
退職給与引当金	4,353,913		
固定負債合計		4,353,913	
負債合計			4,497,913
III 正味財産の部			
正味財産			39,475,000
(うち当期正味財産増加額)			(△ 67,835)
負債及び正味財産合計			43,972,913

財 産 目 録

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

勘 定 科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現 金	332,793		
普通預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	11,649,557		
前 払 金	636,650		
流動資産合計		12,619,000	
2. 固定資産			
退職給与引当預金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	4,353,913		
記念事業基金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	7,000,000		
財政調整基金			
定期預金			
三菱UFJ銀行八重洲通支店	20,000,000		
固定資産合計		31,353,913	
資産合計			43,972,913
II 負債の部			
1. 流動負債			
前 受 金	144,000		
流動負債合計		144,000	
2. 固定負債			
退職給与引当金	4,353,913		
固定負債合計		4,353,913	
負債合計			4,497,913
正味財産			39,475,000


監 査 報 告 書

会則第 27 条により、令和 5 年度の事業報告書、収支計算書、
正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録を関係諸帳簿及び証憑
書類と対照監査したところ、いずれも適正かつ正確に処理されてい
ることを確認しました。

令和 6 年 4 月 18 日

東京土木施工管理技士会

監 事 芦澤 常幸 

監 事 福岳 雄一郎 

監 事 柳内 若行 